科学への好奇心、探究心を育てよう
彦根市サイエンスプロジェクト

▶▼熱戦が繰り広げられた昨年のロボカップジュニア彦根ノード大会

現在、子どもたちの理科に対する興味・関心が低くなったと言われています。

また、社会では時代に必要とされるIT（情報技術）系スキル（技能、技術）を持った人材の育成が必要であるとも言われています。

これらの課題の解決に向けて、彦根市ではサイエンスプロジェクト事業を行っています。

今回は、彦根市サイエンスプロジェクトの内容や、参加者の声などを紹介します。

問い合わせ先　㊐教育委員会生涯学習課☎24-7971番、FAX23-9190番

科学で世界にチャレンジできる人材を育てる

彦根市サイエンスプロジェクトは、左表の目的を果たすために、社会人向け講座や、子ども向けロボット研究室などを開講しています。

教育用ロボットのプログラミングなどを行いながら、社会人はIT系スキルの習得を、小・中学生は科学への好奇心や探究心を引き出すことが狙いです。ロボカップジュニアなどの国際科学技術コンテストに参加し、科学で世界にチャレンジできる機会を提供していきます。

彦根市サイエンスプロジェクトの目的

❶ 地域に根付いた科学を教育する環境の提供
❷ ❶を支える指導者の育成の推進
❸ 地元産業を活性化し、産業界・教育界に大きく寄与できる人材を輩出

プログラミングの楽しさを学ぶ2種類の講座

平成21年度から実施している主な講座を次に紹介します。

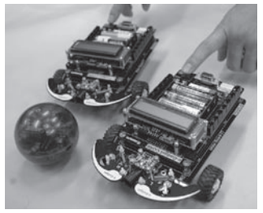
対象は大きく2つに分けています。社会人向けの講座と、子ども向けの講座です。

講座では、教育用ロボットである「自律型ロボット」を使いながら、プログラミングの基礎を学ぶ講座や、IT系スキルの向上を図るための講座などがあります。

「自律型ロボット」とは、自ら状況を判断して動くロボットのことで、事前に動かせたい動作をイメージしてプログラムを作ります。

一度、ロボットを起動させると、ロボットの製作者はコントローラーなどで操作はしません。ロボット自身で目的地への移動などをします。

このような講座を通して、ものづくりやプログラミングの楽しさを体験していただいています。



社会人向けの講座

▼ロボットを使ったIT・プログラミング講座
　C言語（プログラミング言語）の基礎を学びます。

▼基礎ITスキル講座
　プログラム、ホームページ、データベースに特化した実践的な講座です。

子ども向けの講座

▼「自律型ロボット」を使った、プログラミングの体験教室

▼自律型ロボット研究室

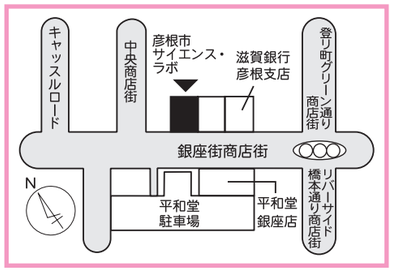
オープンしました彦根市サイエンス・ラボ

彦根市サイエンスプロジェクトを推進するための活動拠点として、「彦根市サイエンス・ラボ」が、平成22年8月1日㈰に銀座町にオープンしました。

彦根市サイエンス・ラボでは、子ども向けや大人向けの講座「自律型ロボット研究室」を実施しています。このほかにも、さまざまな講座を開催しているほか、受講生同士などの情報交換や、ロボット競技の練習の場としても開設しています。

場所　銀座町2-19　小島ビル2階（銀座街バス停前）（※左の図の黒い部分）

開設日時　毎週火曜日、金曜日は午後3時～同7時、毎週日曜日は午前9時～午後5時

問い合わせ先　彦根市サイエンス・ラボ☎27-5255番、FAX27-5258番

※車でお越し（または送迎）の場合は、平和堂の駐車場をご利用ください。彦根市サイエンス・ラボで無料駐車券をお渡しします。